

『ご挨拶』

流山市文化協会 会長 上野 真由美

流山市文化協会は創立50周年を迎えました。詳細は熱意ある小手編集長をはじめ編集委員により、込められた想いと共に綴られておりますので、ゆっくりと、そして、しっかりとご覧ください。



さて、2020年、本来なら2回目の東京オリンピックが開催されているはずでした。しかし、新型コロナウイルスという未知のウイルスにより、日本ならずとも世界中が先の見えない迷路に迷い込み、何もかもが一変しようとしています。しかし、それを受け止め、受け入れて、チャンスとし、流山市における文化芸術が流山市民に周知され、更に広め、定着させて、ここ流山から各地に発信していけるようにしたいと思っています。

いつも喧嘩ばかりしていた小野前会長、今年は仲良くしようねと年始に約束したのも束の間、「ちょっと2週間ばかり入院してくるよ。コロナじゃないよ。」とそのまま旅立たれてしまいました。小野前会長の確固たる願いだった記念誌は、ここに発行されました。その代わりに、今後の流山市文化協会の継続と更なる発展は、あの世からお力添えをして下さると確信しています。

どの時代にも豊かな人生には文化芸術はとても大切なものです。心が豊かにワクワクする面白い活動に務めていきます。

このような未来が語れるのも、ひとえに今までの流山市文化協会の歴代会長をはじめ、役員の方々、流山市長、議長、教育長、生涯学習課のご尽力、そして忘れてならないのは、各部の変わらぬ志と継続する力の賜物です。心から感謝と敬意を申し上げます。ありがとうございます。

検索：『流山市文化協会』

<https://www.city.nagareyama.chiba.jp/life/1001505/1001700/1001730/index.html>



『流山市文化協会創立50周年に寄せて』

流山市長 井崎 義治

流山市文化協会創立50周年を迎えられましたこと、心よりお祝いを申し上げます。

会員の皆様におかれましては、日頃より、流山市文化祭を始め、各部による文化行事、展示、発表等を通して、本市の文化活動の推進に寄与していただいておりますことを、深く感謝申し上げます。



流山市文化協会は昭和45年に市内の文化団体の交流及び本市の文化芸術振興を目的に設立され、50年もの長きにわたり、地域文化の大きな柱として今日に至るまで発展を遂げられていることは、ひとえに歴代会員の皆様のひたすらなご尽力の賜物と存じます。

流山市が施行された昭和42年には5万人だった人口は、50年の時を経て20万人に達しようとしています。「都心から一番近い森のまち」を都市イメージとし、緑豊かで良質な住宅環境と快適な都市環境の創出に努めてきたことにより、子育て世代を中心に人口が増加しており、全国792市の中で、人口増加率が4年連続日本一となっております。今後も「住み続ける価値の高いまち」を目指し、皆様の文化芸術活動を通じて、流山市民の心豊かな質の高い生活とコミュニティの形成にお力添えをお願い申し上げます。

結びに、流山市文化協会の更なる御発展と会員の皆様のますますの御活躍と御健勝を御祈念申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

『流山市文化協会創立50周年に寄せて』

流山市議会議長 青野 直

流山市文化協会が設立50周年を迎えられましたこと、誠におめでとうございます。心からお祝い申し上げます。

また、日頃から市政の発展はもとより、市議会運営に対し温かいご理解とご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

流山市文化協会におかれましては、50年の長きにわたり、本市の芸術および文化の発展を目指し、各団体の活動に積極的に取り組んでこられました。貴協会の活動により、本市の芸術文化の推進に多大なるお力添えをいただいておりますことに、心から感謝を申し上げます。

昨今は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、例年多くの団体の方々が日頃の活動の成果を披露される流山市文化祭が中止となるなど、かつてない困難な1年となりました。

新たな生活様式が余儀なくされる中ではありますが、芸術文化は心豊かに暮らせる街をつくる上でも重要な人間活動のひとつであり、大変厳しい当節を果敢に乗り切るために必要なエネルギーでもあります。

市議会と致しましても、地域のさまざまな活動主体が連携、協力できる環境づくりが進むよう、市民の代表としての役割を果たしてまいります。皆様におかれましては、引き続き伝統芸能を継承していただき、文化的な街づくりへのご協力をお願い申し上げます。

今後も市民の皆様のご意見を反映し、市政がさらに推進されるよう、市執行部に積極的に働きかけることはもとより、各委員会活動や一般質問、議員研修会等を通し、生涯学習に対する理解の促進、啓発に鋭意取り組んでまいり所存であります。

結びにあたり、貴会の益々のご発展と各団体の皆様方のご健勝、ご多幸を心より祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。



『流山市文化協会創立50周年をお祝いして』

流山市教育長 田中 弘美

流山市文化協会が創立50周年を迎えられましたこと、
誠におめでとうございます。

流山市文化協会は、本市で活躍、研鑽を積み重ねている文化団体が分野を超えて一つに結集して組織され、総合的文化活動を通じて本市の文化芸術振興に多大なるご貢献をいただいております。設立から現代に至るまで、地域の文化芸術振興の中心的な役割を担っていただいておりますことに、心から感謝申し上げます。また、市内に芸術、伝統芸能、芸能、生活文化、国民娯楽と、多岐にわたる文化団体が存在し、相互に交流を図る協会が組織されていることを大変幸せに思います。



本市教育委員会では「豊かな人生と文化芸術を創造するまちづくり」の理念の下で、文化芸術の醸成を目指し、市民が文化芸術に触れる機会と場の創出のために、様々な事業を推進しております。各事業の実施に当たっては、日頃より流山市文化協会各部の皆様にご協力をいただいております。多様な文化芸術の鑑賞機会を提供していただくことは、子供から大人まであらゆる世代にとって非常に大きな喜びであると感じております。

価値観の多様化が進む現代において、人々に楽しさや感動、精神的な安らぎをもたらす文化芸術活動への期待は大きくなっております。流山市文化協会による文化活動の発信がより積極的に展開され、市民が文化芸術に親しむ機会を生み出していただくことは、地域文化の向上に寄与し、市民生活により一層の豊かさをもたらすものと期待しております。

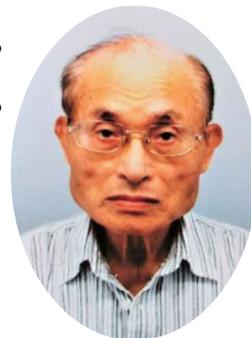
流山市文化協会会員の皆様には、今後とも本市の文化芸術振興の牽引役として、地域の薫り高い文化の醸成にお力添えをお願いするとともに、流山市文化協会のますますの御発展を心よりお祈りいたします。

『流山市文化協会「50周年記念誌」刊行をお祝いして』

流山市美術家協会 会長 多々良 勲

流山市文化協会設立50周年、誠におめでとうございます。
併せて「50周年記念誌」発刊を心よりお慶び申し上げます。

流山市文化協会の皆様には芸術活動の多様性を包括し、各部の個性を遺憾なく発揮され、半世紀にわたり、流山市内はもとより東葛飾地区や県内外にその実績を残されております。各部の発表には、それぞれに豊かな個性と独創があり、その趣に感動し、感激し、その奥深さに思わず我を忘れることがございます。このことはその道に長い間、精進されたが故と推察致します。



流山市美術家協会は文化協会発足後、7年目に立ち上げ、貴協会の一員として活動してきました。その後は別の道を歩みましたが、流山市の芸術文化の発展を支援するために、共に手を携え、共に協力する事となりました。流山市文化祭は皆様の日頃の成果を発表する場であり、流山市民にこよなく愛される場でもあります。私達は文化祭の実行委員の一員として参加し、皆様と共に、この祭典を支えていきたいと思っております。

この度の50年の節目にあたり各部の統括とご指導にあたられた先生方と会員の方々に改めて、敬意を表し、引き続き流山市の地域芸術文化の振興にご指導とご尽力をお願い申し上げます。

結びに、流山市文化協会の皆様の益々のご健勝とご活躍を、貴協会のご発展を、心よりお祈り申し上げ、創立50周年のお祝いのご挨拶と致します。

流山市美術家協会

現在、流山市美術家協会の会員は104名になります。年2回市民ギャラリーで会員展、年3回市民公募による受賞作品展、年1回生涯学習センターで大作展、年1回流山市展、その他、スケッチ研修会、講習会等を開催しています。



生涯学習センター（2019年）



市民ギャラリー（2020年）

『流山市文化協会創立50周年記念に寄せて』

千葉県芸術文化団体協議会 会長 秋原勲

この度は流山市文化協会が設立50周年を迎えられ、心よりお祝い申し上げます。上野新会長の下、20の加盟団体、2,200名の会員の皆様が文化芸術活動を通じて市民の生きがいや絆づくりに寄与し、明るい文化都市づくりに貢献されていることに敬意を表します。



なかでも、貴協会が流山市と協働で実施する「秋の文化祭」は毎年11月3日の文化の日を挟んで約1ヶ月に渡り、芸能発表、作品展示、各種行事の3部門に分かれて、年間活動の集大成ともいえる充実した内容を展開されています。他にも東葛飾文化祭での活躍、2002年の千葉県芸術文化部門教育功労賞の受賞など多くの実績を残されています。こうした日々の努力の積み重ねが50年という長きに渡る協会の発展につながったのだと思います。

また、近年では「文化芸術フォーラム」でのご活躍も目覚ましいものがあります。平成29年度のフォーラムでは邦楽三曲部と洋舞部の素晴らしい舞台公演が行われました。邦楽三曲部は箏、三弦、尺八の奏者が流派や世代を超えて邦楽を研究し、その魅力を伝えております。公共施設や学校などでも伝統芸能の普及活動に努められております。

洋舞部はクラシックバレエ、ジャズダンスの4団体で構成され、国民文化祭をはじめ、国内外の様々な公演に参加しています。施設訪問のボランティア活動もするなど積極的にダンスの普及に取り組まれています。洋舞部の皆様は、その後のフォーラムでは観客と一体となったパフォーマンスを披露され、会場は大いに盛り上がりました。今後も貴協会の皆様の発表を楽しみにしています。

流山市では年々、人口が増えて約20万人となり、若い世代の比率も上がっているそうです。貴協会には若者の会員を増やして頂き、流山市、そして千葉県の芸術文化の振興に一層お力を頂けたらと思っています。引き続き、何卒、どうぞよろしくお願い申し上げます。